

# RYOBI

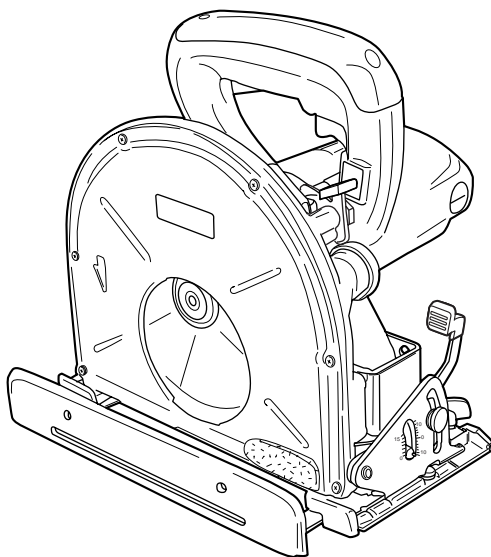
## キワ切りカッタ

### KW-300D

### 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



#### もくじ

- ・安全上のご注意 ..... 1 ~ 5
- ・各部の名称 ..... 5
- ・仕様・付属品・用途・別販売品 ..... 6
- ・操作方法 ..... 7 ~ 11
- ・切断作業 ..... 12 ~ 13
- ・別販売品について ..... 13
- ・保守と点検 ..... 14



二重絶縁

このたびは、リョービキワ切りカッタをお買い上げいただきありがとうございます。  
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。  
使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださ  
るようお願いいたします。

## 注意文の「⚠ 警告」、「⚠ 注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表  
します。

**⚠ 警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内  
容のご注意。

**⚠ 注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物  
的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。  
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**⚠ 警告**・**⚠ 注意**以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は  
「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

## 安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず  
守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用  
してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

### 警 告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでくだ  
さい。
  - ・作業場は十分に明るくしてください。
  - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
  - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてくだ  
さい。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
  - ・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管して  
ください。

6. 無理して使用しないでください。
  - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
  - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
  - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
  - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
  - ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張って電源コンセントから抜かないでください。
  - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 加工するものをしっかりと固定してください。
  - ・加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ・使用しない、または修理する場合。
  - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合。

## ⚠ 警告

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
  - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
  - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
  - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・常識を働かせてください。
  - ・疲れている場合は、使用しないでください。
21. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。  
取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。  
スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
  - ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
  - ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - ・修理は、必ずお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお申しつけください。
  - ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

### 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

## キワ切りカッタご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、キワ切りカッタをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

### ⚠ 警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. ソーカパー（保護カバー）は、絶対に取外さないでください。
  - ・ノコ刃が露出したままですと、けがの原因になります。
3. ノコ刃は、銘板に表示してある（外径）165mmのノコ刃を使用してください。また歯底径が150mm以下のノコ刃は使用しないでください。
  - ・けがの原因になります。
4. 本機で木材の切落とし加工など材料の外側から切込む作業はしないでください。
  - ・切り初めにノコ刃が定盤下側に露出し、けがの原因になります。
5. 使用中は、本体を確実に保持してください。
  - ・確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
6. 使用中は、ノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
  - ・けがの原因になります。
7. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合、スイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げるようにしてください。
8. ロックレバーを押下げた状態で固定しないでください。
  - ・不意にハンドルが下がり、ノコ刃でけがをする原因になります。
9. ハンドルを持上げたとき、ロックレバーが確実にノコ刃の上があった位置でロックしていることを確認して使用してください。
  - ・木屑などがソーカパーに詰まり、ロックレバーがロックしていないと、ノコ刃が出た状態になり、けがの原因になります。
10. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用中を中止し、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
  - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



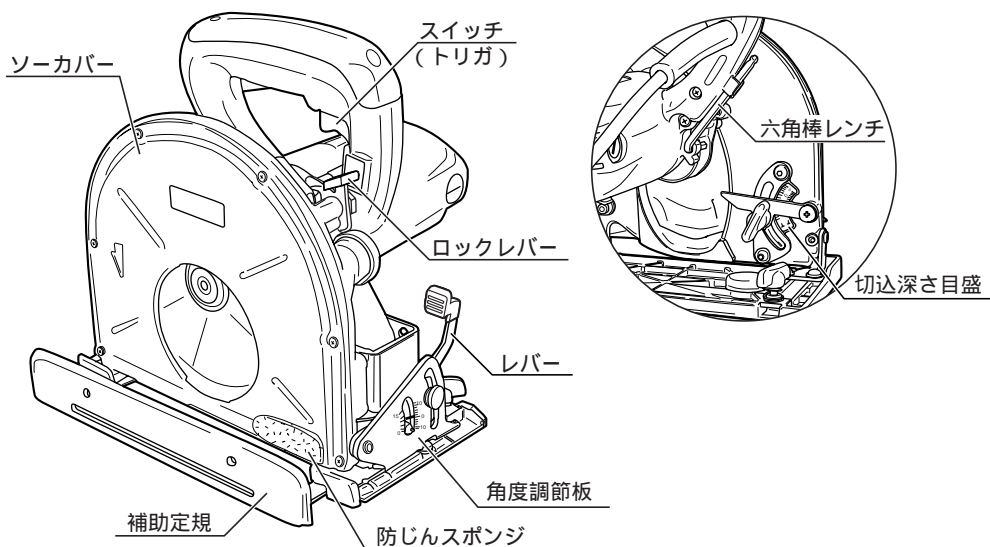
### ⚠ 注意

1. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - ・確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
  - ・ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手などの巻込まれる恐れのある手袋は使用しないでください。
  - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

4. 作業前に人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、本体の振動やノコ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
  - ・異常があるとけがの原因になります。
5. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
  - ・機体を落としたりし、けがの原因になります。
6. 材料の下に障害物がないことを確認してください。
  - ・障害物にノコ刃があたると強い反発力が生じ、けがの原因となります。
7. 材料に釘などの異物が入っていないことを確認してください。
  - ・刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
8. 本機の前方に手やコードを置いたまま作業をしないでください。
  - ・手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
9. 回転するノコ刃で、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ・感電の恐れがあります。
10. 本体をパイプなどで保持してノコ刃を上向きにした使い方はしないでください。
  - ・不意の接触などで、けがの原因になります。
11. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引張ったり、引っかけたりしないようにしてください。
  - ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
12. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。
  - ・けがの原因になります。

## 各部の名称



## 仕様

- ・電源 ..... 単相・交流100V 50/60Hz
- ・電流 ..... 8A
- ・消費電力 ..... 760W
- ・無負荷回転数 ..... (no) 4,300min.<sup>-1</sup>
- ・最大切込深さ 直角切断時 ..... 41mm  
キワ切断時 (左12° 傾斜) ..... 31mm
- ・ノコ刃径 ..... (外径) 165mm × (内径) 20mm
- ・機体寸法 (長さ × 幅 × 高さ) ..... 232mm × 189mm × 239mm
- ・コード ..... 5m
- ・質量 ..... 3.0kg
- ・絶縁方式 ..... 二重絶縁

## 付属品

- ・SSTブレード (本体取付) ..... 1  
(外径) 165mm × (内径) 20mm × (歯数) 52
- ・補助定規 ..... 1
- ・六角棒レンチ 5mm (本体収納) ..... 1
- ・防じんスポンジ ..... 2

## 用途

### 警告

・本機で木材の切落とし作業はしないでください。切り初めるとき、ノコ刃が露出してけがの原因になります。

- ・住宅リフォーム (フローリング貼替え) 時の床切断
  - ・各種木材の切抜き作業 (窓抜きなど)
- (注) 木材以外の材料を切断しないでください。また、切断砥石の使用、ベンチスタンドに取付けての使用はできません。

## 別販売品

- ・チップソー  
(外径) (内径) (歯数)  
165mm × 20mm × 40  
165mm × 20mm × 48  
165mm × 20mm × 52  
165mm × 20mm × 60  
165mm × 20mm × 72
- ・集成材用テフロン加工チップソー  
(外径) (内径) (歯数)  
165mm × 20mm × 52  
165mm × 20mm × 72
- ・集じんホース  
長さ2.5m 本体接続径30mm(外径) 集じん機接続径38mm(外径)
- ・ホースバンド

# 操作方法

## スイッチ

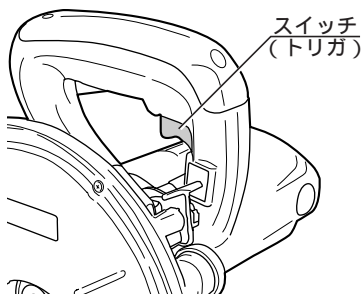
### ⚠ 警告

- ・使用電源は、銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

### ⚠ 注意

- ・ブレーキが働くときの反発力に注意してください。機体を落としたりし、けがの原因になります。

- ・スイッチは引き金方式です。トリガを引くと入り、離すと切れます。
- ・スイッチを切るとノコ刃がすばやく停止するブレーキ付きとなっています。

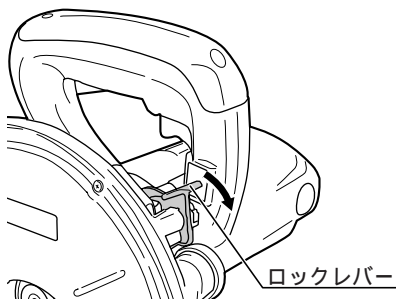


## ロックレバー

### ⚠ 警告

- ・ハンドルを持上げたとき、ロックレバーが確実にノコ刃の上でロックしていることを確認して使用してください。木屑などがソーカバーに詰まり、ロックレバーがロックしていないと、ノコ刃が出た状態になり、けがの原因になります。

- ・ロックレバーを矢印方向に押すとロックが解除され、ハンドルを押下げて切断作業が行なえます。作業後は必ず元の位置（ロックされた状態）に戻っていることを確認してください。  
(注)木屑などがソーカバーとノコ刃の間に詰まり、ノコ刃が十分に上がりきらない場合、ノコ刃を一度外して(P9ノコ刃の交換参照)エアブローか、細い棒を使って木屑を取除いてください。



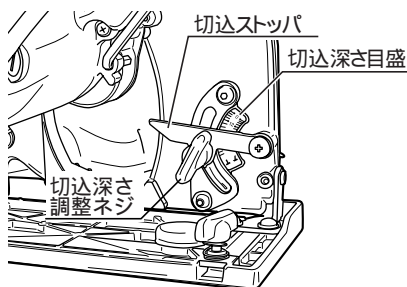


## 切込深さの調節

- 切込深さ調整ネジをゆるめ、お望みの深さに切込ストッパを合わせ、切込深さ調整ネジを締付けて切込ストッパを固定します。(目盛は目安にしてください。)

目盛は、直角切断時、キワ切断時を表示しています。作業に合わせてお選びください。

- 切込深さ寸法はハンドルをいっぱい押下げたときに定盤面から出ているノコ刃の寸法です。

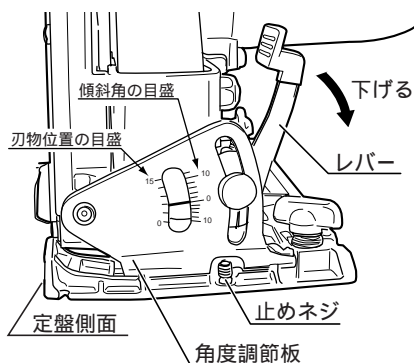


## 傾斜角度の調節

- ノコ刃を傾けて壁のキワを切ることが出来ます。
- 傾斜角度の調節はレバーを下げて(ナットがゆるむ)本体を傾斜させます。傾斜角度および切断位置は角度調節板の目盛を参考にしてください。
- 傾斜角度を決めたら必ずレバーを上げて(ナットが締まる)確実に締めてください。

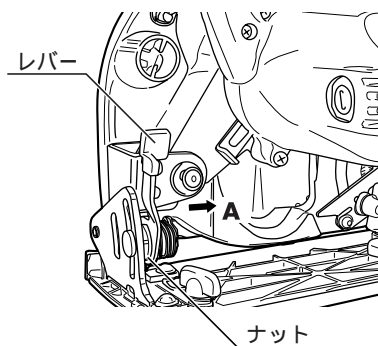
(注)レバーを下げててもナットのゆるみが少なく、本体の傾斜が難しい場合は、レバーを矢印A方向に押し、レバーを少し上側に戻し再度下げてナットをゆるめてください。

設定の傾斜角に対し、切断位置を定盤側面からの寸法で刃物位置目盛に表しています。



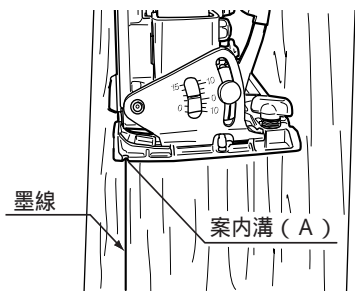
### (キワ切断微調整)

- 本機はキワ切断時の傾斜角度を微調整して、切断位置を微調整できる構造になっています。傾斜角度の微調整は、定盤裏側の止めネジを回して行ないます。
- 定盤裏面から、止めネジを六角棒レンチ(2.5mm = 市販品をご使用ください。)で回して角度の微調整を行ないます。

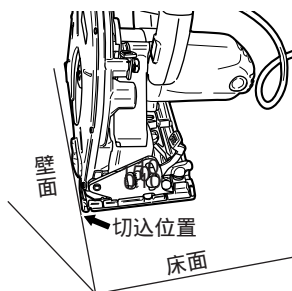


## 切断位置

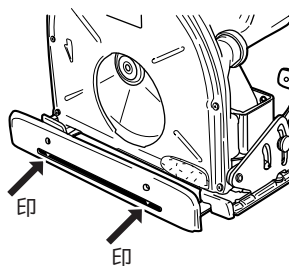
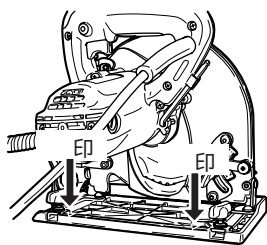
- 傾斜角  $0^\circ$  の場合は定盤先端の案内溝 (A) を墨線に沿わせて加工してください。



- キワ切断 (左  $12^\circ$  傾斜) の切込みの場合、定盤の側面が切断位置になります。キワを切る場合は、定盤側面を壁面に合わせて加工してください。
- (注) 切込位置が壁ギワにならない場合は、傾斜角度を微調整してください。(P8参照)

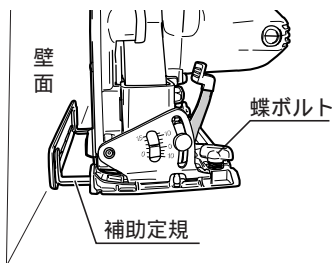


- 定盤の左側と補助定規側面に ( ) の印があります。切込み深さ 30mm 時のチップソー切断範囲をあらわしています。切抜き切断時などのチップソー位置確認の目安にご利用ください。



## 補助定規の取付け

- 補助定規を使用して、壁面からの定寸加工が可能になります。
  - 補助定規の取付けは、定盤の取付溝に補助定規のバーをさし込み、蝶ボルト (2ヶ所) で固定します。
- (壁面より 15 ~ 60mm の範囲で使用できます。)



## ノコ刃の交換

### ⚠ 警告

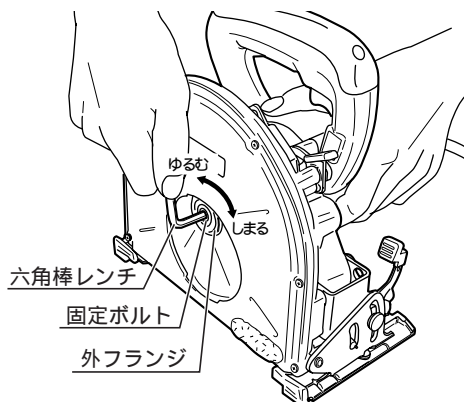
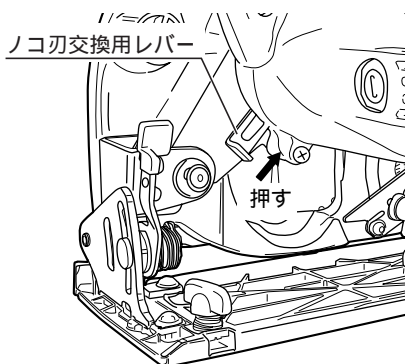
- ・ノコ刃の交換の前に、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ノコ刃は、銘板に表示してある（外径）165mmのノコ刃を使用してください。また歯底径が150mm以下のノコ刃は使用しないでください。けがの原因になります。
- ・ノコ刃取付け後は、六角棒レンチを取外し、ノコ刃交換用レバーが元に戻って、ノコ刃がスムーズに回転することを確認した後、スイッチを入れるようにしてください。レンチが飛ぶなどしてけがの原因になります。

### ⚠ 注意

- ・ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
- ・ノコ刃の交換は本取扱説明書に従って確実に行ってください。確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。
- ・ノコ刃の脱着は付属品の六角棒レンチ以外の工具を使用しないでください。締過ぎや締付け不足となり、けがの原因になります。

#### （ノコ刃の取外し）

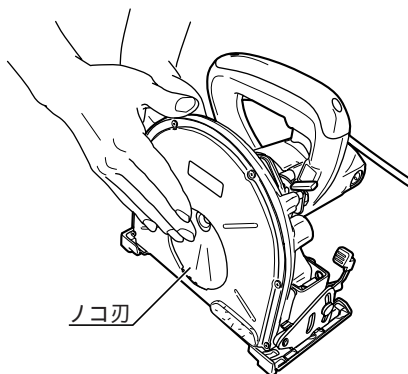
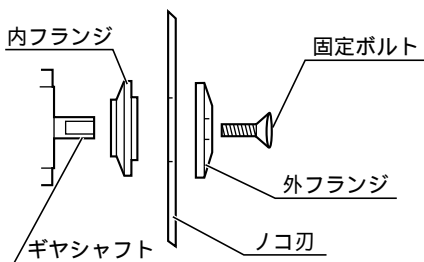
1. 安定した台の上に本機を置きます。
2. ノコ刃交換用レバーを矢印方向に押した状態でノコ刃が固定される位置まで付属品の六角棒レンチで固定ボルトを回転させます。
3. ノコ刃が固定された状態のまま、六角棒レンチで固定ボルトを反時計方向に回してゆるめます。



4. 固定ボルト、外フランジ、ノコ刃の順に取外します。ノコ刃取外しの際は、ノコ刃の両面を両手で挟み、下に滑らせるようにして取外してください。

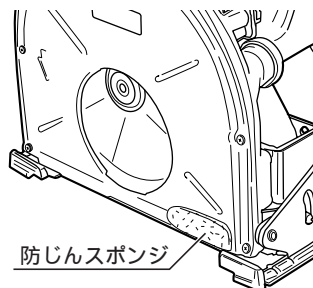
5. ノコ刃の取付けは、取外しと逆の手順で行いません。

(注) ノコ刃の向きはノコ刃の矢印とソーカバの矢印を同じ方向にしてください。



## 防じんスポンジについて

- ・ 本機を集じん機に接続しないでご使用になりますと、切断部分から、切り粉が舞い上がります。右図の位置に付属品の防じんスポンジを貼ってご使用になりますと、粉じんの舞上がりを少なくできます。



## 切断作業

### ⚠ 警告

- ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。（保護めがね、防じんマスクは市販品をご利用ください。）
- ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。また、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・使用前に、ソーカバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定の機能を発揮するか確認してください。異常があるとけがの原因になります。
- ・切断中に本体をこじったり、強く押しすぎるとモーターに無理がかかるだけでなく、反発力が生じ、けがの原因になります。まっすぐ静かに進めるようにしてください。
- ・ソーカバーは絶対に取外さないでください。ノコ刃が露出しますと、けがの原因になります。
- ・ノコ刃は、銘板に表示してある（外径）165mmのノコ刃を使用してください。また歯底径が150mm以下のノコ刃は使用しないでください。けがの原因になります。
- ・使用中はノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合、スイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げるようにしてください。
- ・本機で木材の切落とし加工など材料の外側から切込む作業はしないでください。切り初めにノコ刃が定盤下側に露出し、けがの原因になります。

### ⚠ 注意

- ・ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
- ・使用中は、軍手など巻込まれる恐れがある手袋は使用しないでください。回転部に巻込まれ、けがの原因になります。

## 切込み方法

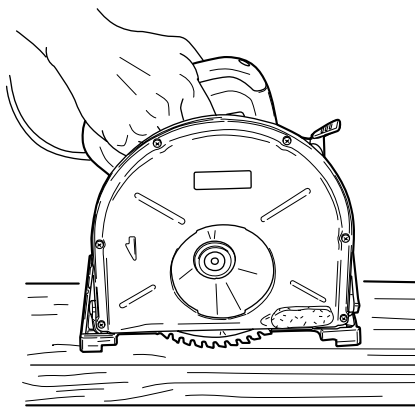
（注）木材以外の材料を切断しないでください。

1. 傾斜角度を設定し、材料の厚さに合わせて切込深さを調整します。
2. スイッチを入れ、モーターの回転が十分に上がった後、ロックレバーを解除し、ハンドルを静かに押下げて切込んだ後、機体を前方へ押し進め、切込みます。

（作業のコツ）

- ・ひき肌を一樣にする為には進め方を一定の速さに保つことが大切です。
- ・材料の質に合った送り速度で切抜き作業を行なってください。

（注）ノコ刃が回転中は、ノコ刃交換用レバーを押さないでください。



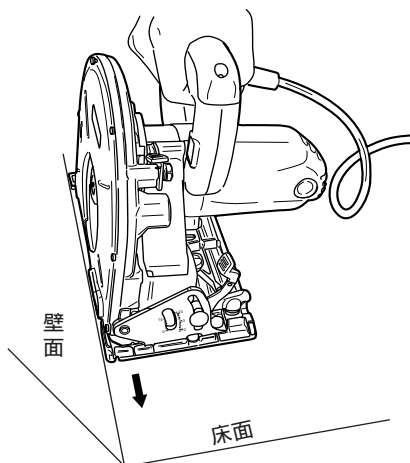
## キワ切り

・キワ切りとはリフォーム工事の床貼替え作業で床板を壁面に沿って切断することです。

1. 傾斜角度を設定し、材料の厚さに合わせて切込深さを調整します。
2. 定盤右側面を壁面に当て、本機をセットします。
3. スイッチを入れ、モーターの回転が十分に上がった後、ロックレバーを解除し、ハンドルを押下げて切込みます。  
本機をしっかりと保持し、定盤側面を壁に沿わせながらゆっくりと前方へ切り進めてください。
4. 切り終わったら、スイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止まってから、本機を床から持ち上げてください。

(注) 切込位置を微調整したい場合は、傾斜角を微調整してください。(P8参照) 定盤側面から切込位置の距離が微調整できます。

(注) 本機の構造上定盤の前後に120mm程度の切残しができます。  
但し、材料、切込み深さなどの設定により異なります。



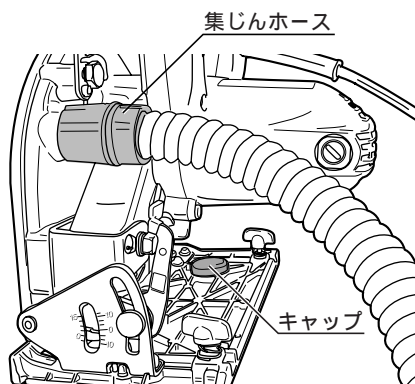
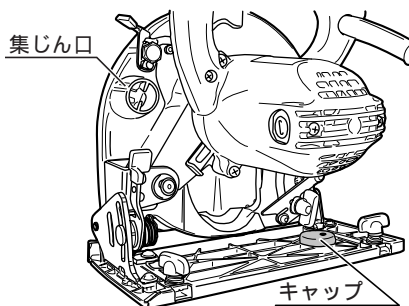
## 別販売品について

### 集じんホース・ホースバンド

・別販売品の集じんホースを使用することにより、集じん機に接続してほこりの少ない作業ができます。

1. 集じん口のキャップを取外し、なくさないように定盤のキャップ収納位置に取付けます。
2. 集じん口に集じんホース(外径30mm側)を接続し、その反対側(外径38mm側)を集じん機のホースに接続してください。  
(集じん口の外径は26mmです。)
3. 集じんホースが材料とモーターケースの間に挟まることを防止するため、別販売品のホースバンドで集じんホースを本体に固定してください。

(注) 集じんホースを使用しない場合は、集じん口に必ずキャップを取付けてください。



## 保守と点検

### ⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

### 刃物について

- ・ノコ刃の切れ味が悪くなったものをそのままご使用になっておられますと、モーターに無理をかける事になり、また能率も落ちますから早めに研磨するか新品と交換してください。

### 各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

### 使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

### 作業後の保管

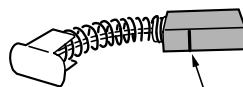
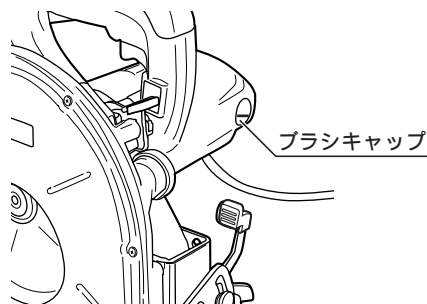
- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

### カーボンブラシについて

- ・カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシは全長の1/3（線の入った位置）程度に摩耗しましたら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用しますと、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。
- ・カーボンブラシの交換は、⊖ドライバでブラシキャップを外して摩耗したカーボンブラシを取出してください。

カーボンブラシは2個1セットです。交換されるときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。

この時、カーボンブラシがブラシホルダ内でスムーズに動くことを確認してください。



この線までご使用になれます。

### 修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
- ・その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、  
ご遠慮なくお買上げの販売店にお問い合わせください。

改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

**RYOBI**

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141